

第129回生涯教育研修セミナー

日時 2023年2月25日(土) 午後 3:00～6:40

会場 経団連会館 2階 『国際会議場』 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2
TEL(03)-6741-0222

※会場での対面開催 (Web配信はございません。)

※参加費無料、事前登録制 (お申込多数の場合は先着順となります。)

下記のURLまたはQRコードにて2月19日(日)までにGoogleフォームでの参加登録をお願いいたします。
追って事務局より詳細につきましてお送りします。また、定員に達した場合は、申込受付を締め切りますので、ご了承ください。
<https://forms.gle/MRm5wvcb3EcMJkwh7>



参加対象

慶應義塾大学医学部、三四会、慶應医師会、慶應義塾大学関連・紹介病院、
東京都地区医師会に所属する医師

取得単位

日本医師会生涯教育制度参加証交付 3単位
取得カリキュラムコード：5、15、19、29 (19、29は各0.5単位の付与になります)

開会の辞

挨拶

テーマ

『認知症の人の生きるを支える』

以前の教科書ではアルツハイマー病に代表される認知症を患うと、生命予後も不良であると記載されていましたが、最近では医学の進歩に伴い、認知症の方々が長寿を全うしていくことは稀ではありません。このことは百寿者が8万人を超え、「人生100年時代」と言われ、認知症患者の数も600万人を超える日本の現状では、認知症とともに生きる時間が大きく伸長してきていると言えます。さらに、アルツハイマー病については、脳内の病的変化が始まってから日常生活が一人ではうまく営めなくなって認知症と診断されるまでに実に20年以上の時間を要します。このように超高齢社会の進展に伴い、認知症ないしその前段階の人々が長い人生を自分らしく生きていくために、医療は、家族は、地域は、あるいは社会全体はいかなる指針で認知症との共生を考え、行動していったらいいのでしょうか。本生涯教育研修セミナーでは、異なる立場の4人の演者をお招きして、認知症の人たちの生活・人生・生命をどのように支えていくのかを話し合っていきたいと思えます。

モデレーター 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 教授 三村 将

1. 『百寿者から見る認知症の健康寿命』

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター 専任講師 色本 涼

2. 『加齢による認知機能の低下が経済行動に与える影響』

慶應義塾大学経済学部 教授
慶應義塾大学経済研究所 ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター長 駒村 康平

3. 『安心して認知症になれる社会を目指して—経験専門家から学ぶ』

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授 堀田 聡子

4. 『認知症新時代の医療における課題と期待』

大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室 教授 池田 学

挨拶

閉会の辞

エーザイ株式会社 代表執行役 CEO 内藤 晴夫

慶應義塾常任理事 北川 雄光

第130回開催予定：2023年6月24日(土)開催

【共催】

慶應義塾大学医学部生涯教育研修セミナー委員会・慶應医師会
慶應義塾大学医学部三四会・慶應医学会
エーザイ株式会社

【連絡先】

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
慶應義塾大学医学部総務課内 生涯教育研修セミナー事務局
TEL.03-5363-3611(直通) E-mail: med-somu-3@adst.keio.ac.jp